

SDGs～持続可能な取組～

10 人や国の不平等をなくそう



フェアトレードについて学ぼう！

桜井市立桜井西小学校

4年

総合的な学習の時間

めあて

日本と外国との経済や文化の違いを知る

フェアトレードとは何か学び、自分たちに何ができるか考える

指導計画

近畿大学の学生に来てもらい、フェアトレードについて学習した。AとBに分かれて、「Aさんは手伝いをしたら900円もらえるけど、Bさんは15円しかもらえなかった」という話から、それぞれの立場でどう感じるか話し合いをした。Aは、「なんかラッキー！でも、Bがかわいそうだから半分あげる」や「たくさんもらえてうれしいけどなんか思いっきり喜べない」などの意見が出た。Bは、「すごく不満」や「おかしい」など、率直な意見が出た。その他にも様々な例えになる話を出して、それぞれの立場から感じたことを話し合い、発表した。その後、「これは、実際に世界で起きていることなのだよ」と説明し、日本とカンボジアで起きている格差について話した。子どもたちは、驚きと何でこのようなことが起きているのか不思議そうな顔をしていた。実際、子どもたちの意見から「そんな差があるのはおかしい」や「みんな同じにしたらいいのに」という意見が出た。

児童の感想

実際に、みんなが着ている服や100均で安く買っているものは、作った人や関わった人々には、ほんのわずかしか収入として入っていないことを知り、フェアにトレードすることの大切さと大事さを教えてもらった。今、自分たちにできることは何か考える際には、

○「フェアトレードについて学んだことをいろいろな人に伝えていく」

○「フェアトレードに興味をもって、もっといろいろなことを調べていきたい」

などが出ました。内容としては難しかったが、小学生向けにわかりやすくクイズ形式で教えてくれ、子どもたちは楽しんでフェアトレードについて学べた。

成果と課題

専門に学習している学生から話を聞くことができ、子どもたちは興味をもって意欲的に学習することができた。しかし、単発の学習となってしまったので、事前指導をしっかりして、計画的に学習すればよかったと思う。今後の活動として、近畿大学の学生さんにつながれたので、ゲストティーチャーとしてまた来てもらい、SDGsの学習をする機会を増やせたらと思う。

